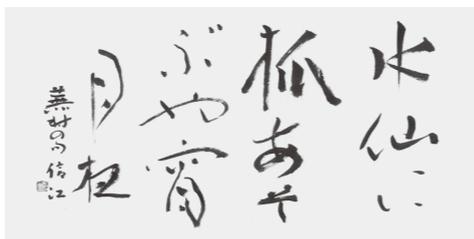


- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

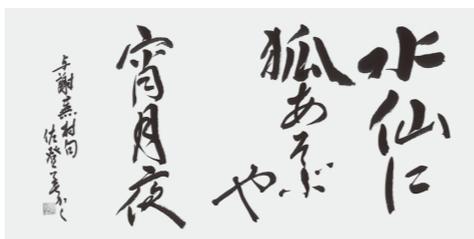
〈B課題の部〉



川西 勉 文字を中央に集め、おしゃれな演出の作。



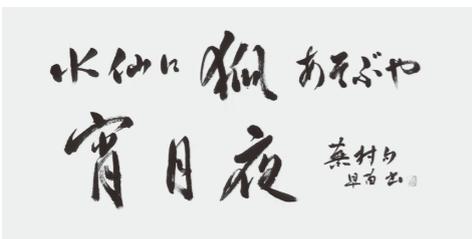
熊谷信江 運筆にリズムがあり明るい作。



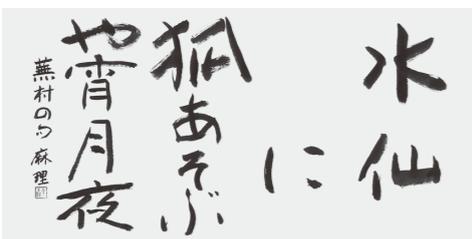
西田佐登美 温かな線質で牧歌的なムードが漂う。



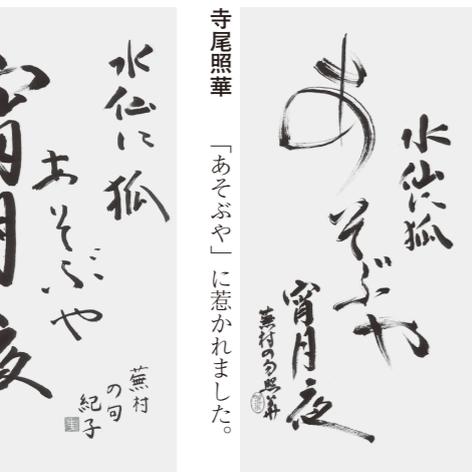
庄司美峰 インパクトのある「宵月夜」ですね。



西垣早苗 味わいのある作。



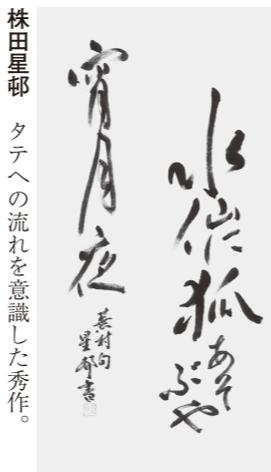
岩元麻理 ほのほとした素朴さが魅力。



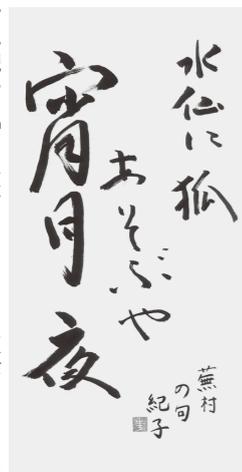
寺尾照華 「あそぶや」に惹かれました。



嶋村青丘 変化に富む線質に加え「宵月夜」の位置が良い。

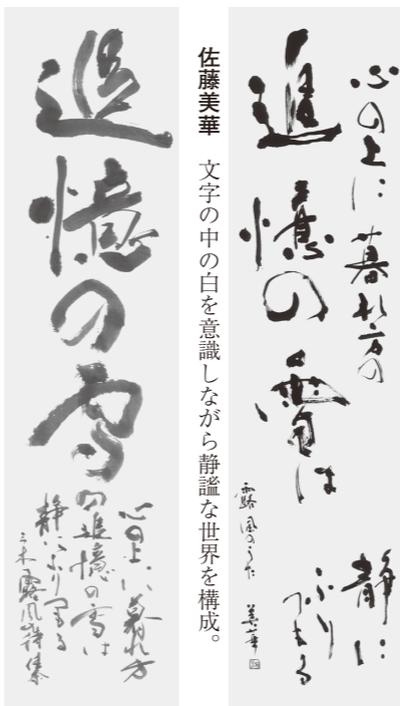


株田星邨 タテへの流れを意識した秀作。



下井紀子 「宵月夜」をメインにし落款でまとめた。

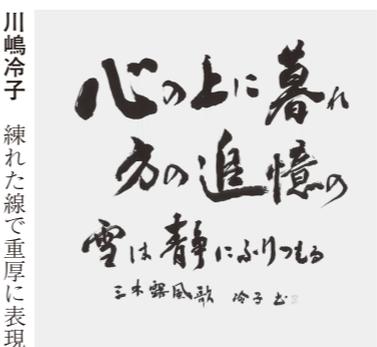
〈A課題の部〉



西村佳奈 大胆な「追憶の雪」と小書きの対比が良い。詩ではなく「歌」。



佐藤美華 文字の中の白を意識しながら静謐な世界を構成。



川嶋冷子 練れた線で重厚に表現している。



永田瑠麗 雄大な迫力の作品。

優秀作品

B 街上ふと止りたそがれ春音を聴く

(木下李太郎 詩)

A 山のふもとの 遠方は 雲雀囀る 青野原

声は遙に 夕暮の 空はおぼろに 花ぐもり (野口雨情 詩)

現代書部 次号課題

先日、原田の森美術館で高校生たちの気迫に満ちた素晴らしい作品をみました。表彰式で、全国から集まった高校生たちに「高校を卒業しても、書をやめないでほしい。書は東洋文化の華。書を次代へつないでほしい。仮に、やめたとしても書の理解者であってほしい」と静かに語りかけた審査員がおられました。「書を次代へつなく」「書の理解者となる」この言葉に深い感銘をうけました。自分は「つなく」人を育てられているのか。「理解者」をつくる努力を惜しんではいないか。今後の課題です。

さて、今回は両課題とも優秀作品が多く選定に苦労いたしました。みなさん、これからも漢字やかな作品同様、現代書も書き続けてくださいね。



西嶋青暎 羊毛の性質を生かした弾力のある線質。線の中の白が利いている。



松下恭香 タテ型の用紙に難しい横書き表現を上手くまとめた。



杉山伊由 後半の落款までの表現が上手い。